

# 関西大学茨木市民人権講座

## 『破戒』100年と部落問題

日時 2006年9月8日（金）13:30～15:30

場所 茨木市立男女共生センター ローズWAM ワムホール(地下2F)

講師 <sup>よしだ</sup>吉田 <sup>ながひろ</sup>永宏 (関西大学人権問題研究室長)

\* \* \*

島崎藤村「破戒」（明治39年3月、自費出版）は、被差別部落出身の青年教師、瀬川丑松が父から与えられた戒め通りにその出自を隠し続けるが、遂にそれを生徒たちに告白し、テキサスに移住する物語である。旧い抑圧に抵抗するものとして文学界に大きな反響を与えるが、反面、被差別部落の人たちからの非難も強く、昭和4年の版を最後に藤村自身が絶版にしてしまい、昭和14年の改訂本出版までの10年間姿を消してしまっていた。昭和28年8月、筑摩書房が『現代日本文学全集』第8巻・島崎藤村集に「破戒」を入れるに際して改訂本を廃し、初版本の復原を行なった。「眼醒めたものの悲しみ」などに記されている藤村自身の部落問題についての遅れた誤った認識にスポットを当て、初版本刊行→絶版→改訂本刊行→初版本復原という、「破戒」の複雑な出版の足跡を辿りながら、現時点に立って、作品世界そのものの持っているプラスとマイナスの問題点を追究してみたい。

### 〈講師プロフィール〉

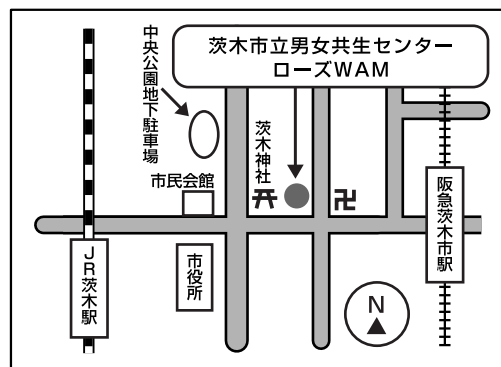
1937年大阪市生まれ。関西大学文学部教授。近代・現代日本文学専攻。元・新日本文学会会員。差別と闘う文化会議会員。〈表現と人権問題〉と取り組み、在日朝鮮人文学も研究領域とする。現在、関西大学人権問題研究室長。

●聴講無料 予約不要。多数のご来場を歓迎します。

主催 関西大学人権問題研究室  
茨木市・茨木市教育委員会  
茨木市人権センター

お問い合わせ先：関西大学人権問題研究室  
〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 TEL.06-6368-1182  
<http://www.kansai-u.ac.jp/hrs>

茨木市人権センター  
〒567-0885 茨木市東中条町2-13 TEL.072-622-6613



※会場には駐車場はありません